



# ふれあい 放水路

1995  
(平成7年)  
第10号  
1月



出雲大社

あけまして  
おめでとぅございませす



平成七年の年頭に当たり、謹んで  
新年のお慶びを申し上げます。

昨年は斐伊川放水路の起工式を多  
数の出席者のもとで行い、工事の本  
格的実施の第一歩を踏み出すことが  
でき、斐伊川神戸川治水事業の長い  
歴史の中でも記念すべき年になりま  
した。地域のみなさまをはじめ、関  
係者の方々の多大なご協力をいただ  
き、厚く御礼申し上げます。

今年、昨年に引き続き用地買収  
や埋蔵文化財調査を進め、また、開  
削部の掘削、工事用道路および神戸  
川拡幅部の築堤関連の工事を本格化  
するとともに、神戸川本川の橋梁工  
事にも着手する予定にしております。  
豊かな自然に十分配慮し、これら  
の事業を進めていきたいと思いま  
すので、引き続きのご支援をよろ  
しくお願い申し上げます。

建設省出雲工事事務所長

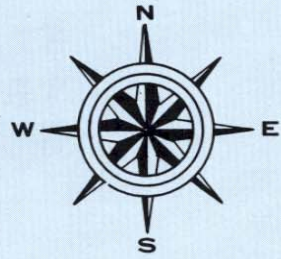
松本直也



# 放水路事業に係る環境影響評価の概要

## その3 環境影響評価の調査結果(動物編)

放水路工事実施予定区域及びその周辺には、平地から山地にかけて普通に見られる種を中心に多くの動物が生息しています。



大社湾

カンムリカイツブリ  
カワウ



カマキリ

カジカ科の魚で、別名「アユカケ」と言い、1~3月頃に川を下って産卵し、水生昆虫や小魚などを食べます。大きいものでは30cmくらいまで成長します。



ゲンジボタル  
ヘイケボタル  
ナガサキアゲハ(文献)  
カマキリ

ゲンジボタル(文献)  
ヘイケボタル(文献)

フクロウ  
カワセミ



モリアオガエル

ハルゼミ

カワウ  
ウミウ  
ハヤブサ  
ヤマセミ  
カワセミ

コハクチョウ

カワウ

オオタカ

神戸川

オナガサナエ(文献)

ハルゼミ(文献)

ナガサキアゲハ

カワウ  
カワセミ

コハクチョウ

カスミサンショウウオ

工事実施予定区域

現状調査対象区域

工事実施予定区域

### 文献・現地調査結果

文献調査、現地調査で以下の種が確認されています。

- ① 哺乳類 7目 10科 18種    ⑤ 魚類 11目 28科 59種
- ② 鳥類 17目 39科 149種    ⑥ 甲殻類 3目 8科 13種
- ③ 両生類 2目 7科 14種    ⑦ 貝類 2目 1科 4種
- ④ は虫類 2目 7科 12種    ⑧ 昆虫類 22目 159科 919種

学術上の観点から重要と認められる種として、特殊鳥類のオオタカ、ハヤブサ、その他にニホンザル、ニホンジカ(哺乳類)、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、コハクチョウ、フクロウ、ヤマセミ、カワセミ、イワミセキレイ等(鳥類)、カスミサンショウウオ、モリアオガエル、カジカガエル等(両生類)、カマキリ(魚類)、オナガサナエ、クツツムシ、ハルゼミ、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ナガサキアゲハ、オオムラサキ等(昆虫類)も含まれています。

### 予測・評価結果

オオタカは、現地調査では繁殖は確認されず、工事実施予定区域を繁殖地としている可能性は少なく、餌場等として利用されていると考えられます。工事による改変を極力少なくし、万一巣等が発見された場合には、繁殖期の工事を控える等適切な措置を講じます。

その他の動物については、陸域環境では、周辺に各々に適した生息環境が広く分布し、水域環境では、工事後も従前と同様の水域が保たれることにより、放水路建設による影響は少ないと考えられますが、工事による急激な環境の変化をできるだけ避けるよう配慮します。

カンムリカイツブリ  
カワウ  
ヤマセミ  
カワセミ

ゲンジボタル  
ヘイケボタル  
ナガサキアゲハ(文献)

オオムラサキ

カジカガエル

カワウ  
オナガサナエ(文献)



ナガサキアゲハ



オナガサナエ



カスミサンショウウオ



# 平成6年 出雲工事事務所10大ニュース

出雲工事事務所は中海・宍道湖を含めた一級河川 斐伊川の管理をしています。平成6年に行った事業の中で、主なものを職員で選びました。



## 斐伊川放水路本格着工



5月12日の起工式

## グリーン・ステップ事業の契約開始、神戸川漁業協同組合と補償合意

放水路事業の残土処理場としての「グリーン・ステップ事業」の契約が始まり、また、神戸川漁業協同組合と建設省の間で補償交渉がまとまりました。

## 斐伊川中期整備試案を発表

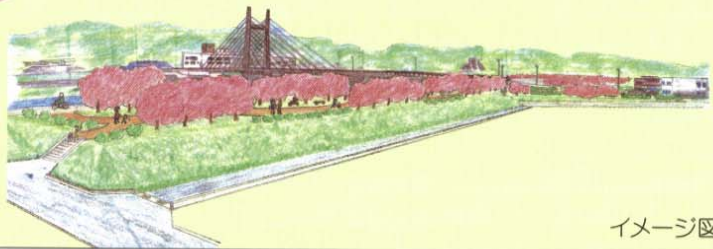
斐伊川の現状と課題、21世紀初頭を目指した整備目標と2001年までの整備の具体的な進め方等をわかりやすくとりまとめた斐伊川中期整備試案を8月に発表しました。この内容についてはまた紹介します。

## 中海浄化事業第二期工事始動

中海の水質改善を目的とした中海浄化事業（底泥除去）の第二期工事は、安来干拓地に処分し県立河川公園と一体となった整備を行うもので、底泥処理地の囲い堤防に着手しました。

## 木次町斐伊川左岸「桜つづみモデル事業」の整備に着手

右岸の堤防桜並木、木次大橋とあわせ新名所となるでしょう。



イメージ図

## 白鳥海岸の多自然型湖岸が完成



東出雲町 白鳥海岸

## 昭和48年以来の『大渇水』

斐伊川では「番水」、飯梨川では取水制限、宍道湖・中海では塩分濃度・水温が上昇し、漁業等に影響がありました。

## 「ふれあい放水路」発刊

地域のみなさんに放水路はどんなものか、どんな工事をしているのかをお伝えするために4月から発刊しています。

## 地域のイベントに参加

「オロチフェスタ」では建設省バビリオンを設け、「宍道湖・松江堀川・水と緑のフェスティバル」を後援し、「神戸川ラインサミット」等のシンポジウムに参加しました。



## 斐伊川の自然観察会始まる



住民のみなさんに斐伊川の自然環境に親しんでもらうため、観察会を始めました。

斐伊川河口  
バードウォッチング

 建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所

〒693 出雲市場治有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当